



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

人類がこの地球で暮らし続けていくために、  
2030年までに達成すべき目標

Leave No One Behind(誰一人取り残さない)



## SDGs 吉沢学園の取り組み



推進課より講師をお招きし、SDGs への理解を深める研修を行いました。

研修では、SDGs 学習ゲーム「いちばら版 Get The Point」を体験することで、'限りある資源を未来に残していくには' を考えさせられました。それと同時に、吉沢学園がこれまで取り組んでいた活動が、SDGs に繋がっていたことも分かり、SDGs 達成に向けて更なるアクションを起こしていく必要性も実感しました。

吉沢学園では、『誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現』を目指しています。その第一歩として、市原市総合計画

市原市は内閣府から「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」に選定されています。また、市独自に「市原市 SDGs 宣言制度」を設けています。

吉沢学園も、SDGs の達成に向けた取組や普及啓発を行う意欲のある団体として、「市原市 SDGs 宣言」を行い、令和5年8月1日に認定を受けました。

これに加え、ファミリア TABI (TABI Café) の SDGs への取り組みを多くの人に知ってもらうために、「市原市 SDGs アワード」にも応募しています。

※詳しくは市原市のホームページをご確認ください。





## 学園イベント

### 4年ぶりの『ききょう祭』



令和5年8月6日、当法人の夏祭りである『ききょう祭』が4年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、令和2年度から夏祭りは施設職員と利用者さんのみで行う『屋台村』として規模を縮小し行ってきました。しかし、今年度は本来の規模でききょう祭を開催できる運びとなり、利用者様の保護者様や近隣にお住いの方、その他各関係者の皆様など、多くのお客様をお招きする事が出来ました。

ききょう祭当日、始まりは雨に見舞われましたが、和太鼓、ベリーダンス、エイサー太鼓などの盛大なステージイベントが行われ、夏祭りの定番である焼き

そばやフランクフルト、カレーに焼き鳥、アイス、ジュースなどの出店が軒を連ね、長蛇の列ができていました。

メインイベントである盆踊り大会では、会場に吊るされた提灯の下、職員や利用者様をはじめ、ご来場頂いた皆様にもご参加いただき、やぐらを囲んで盆踊りを踊りました。そして盆踊りには欠かせない太鼓の演奏は、地域の方や理事長、グループホームの利用者様、ステージイベントで和太鼓演奏を披露して頂いたボランティアの方にもご参加頂き、大いに盛り上がりました。最後にはききょう祭恒例の大抽選会が行われ、大盛況のうちに閉祭となりました。

### ビートルズファーム 発足



今年度から新たな作業班として、カブトムシと触れあう『ビートルズファーム』が加わりました。当施設は森林に囲まれており、偶然幼虫を発見した事からこの企画が始まりました。成虫飼育をするにあたって、皆で試

行錯誤を行いながら取り組んでいます。カブトムシを通じて人との交流に繋がればと思っています。

### 救命講習

市原市消防局の方をお招きし、救命講習を受講しました。応急処置や心肺蘇生の手順を教わり、実際にシミュレーションをしながら訓練を行いました。突然の

怪我や緊急事態の際に落ち着いて判断・行動が出来るよう、学んだ救命手技を活かして利用者様の健康と安全を守っていきます。





# 学園イベント

## 環境フェスタ



6月にアリオ市原で開催された環境フェスタの見学に、3棟10名で行ってきました。学園で集めた食品をフードドライブへ提供したり、展示コーナーを見学したりと、環境やSDGsについて触れるよい機会となりました。

6月にアリオ市原で開催された環境フェスタの見学に、3棟10名で行ってきました。学園で集めた食品をフードドライブへ提供したり、展示コーナーを見学したりと、環境やSDGsについて触れるよい機会となりました。

## サッカー観戦



4月、VONDS市原FCレディースのホーム開幕戦を観戦しました。対戦相手は東洋大学体育会サッカー一部女子部。目の前で繰り広げられる熱戦に利用者さんも大興奮！ゴールが決まると大盛り上がりです。試合は2対0でVONDSレディースが勝利！！久しぶりのサッカー観戦は思い出に残る楽しい体験となりました。

## エコプラザ



牛久にあるTマートさんの駐車場の一角で、『みんな得得エコプラザ』が再開されました。毎月第2・4土曜日に、段ボールや空き缶などの資源ゴミをお持ちいただくと、Tマートさんで使えるクーポン券をお渡ししています。皆さんも是非お立ち寄りいただき、お得なお買い物にお役立てください！

## 地域奉仕ゴミ拾い

6月、吉沢地区の草刈り後にゴミ拾いを行いました。落ちていたゴミを見つけると真っ先に拾いに行く利用者さん。「見て！あそこにゴミがあるよ！」と職員にも教えてくれ、ゲームのように楽しみながら参加する姿が見られました。暑い中お疲れ様でした♪



# TABI Café



## ランチ新メニュー、テラス席設置

新型コロナの類型が変更され全国的に外出の機会が増えたためか、団体予約やランチ時の来店が多く見られるようになりました。9月より新たなランチメニューとして『ふわふわ卵かけごはん』が仲間入りし、テラス席も設けましたので、ぜひご来店下さい。





# グループホーム

## 成田航空博物館に日帰り旅行



5月25日にグループホームの利用者さん15名と職員で成田航空博物館に日帰り旅行に行ってきました。当日はあいにくの天候ではありましたが、雨の日のジャンボジェット機の離発着は水しぶきがあがり、その大迫力にみんなで大興奮！また、博物館の見学ではジャンボジェット機の座席に座り飛行機での旅行気分を味わえ、短い時間ではありましたが楽しいひと時を過ごしてきました。



東京ドイツ村に行ってきました。向かう車内では乗りたいアトラクションやお昼のメニューで

盛り上がっていましたが、到着した時に衝撃の事実が発覚。乗りたいと思っていたアトラクションが急遽中止になっている!! ですがさすがみなさん「違うのに乗ろうね」と気分を変え、楽しんでいました。広い園内を探検気分であたり、きれいなテラスでおいしいご飯を食べたりとゆっくり過ごしてきました。ハプニングも含め、楽しい1日を過ごすことができました。

## 東京ドイツ村に日帰り旅行



# 障害者グループホーム等支援事業（千葉県委託事業）

## 事例検討会 開催



市内のグループホームは増加の一途をたどり、まもなく100軒になろうかとしています。その中で課題となっているのは、質の向上です。去る7月に当センター主催で市原圏域障害者グループホーム等事例検討会を初開催しました。当日は40名ほどが参加し、1つのモデルケースをいくつかのグループに分かれて検討しました。グループワークでは様々な意見や提案が出され、最後はグループホーム職員が相談者役へ実際に今後のことを説明する模擬面談まで行いました。皆さん真剣で、緊張感がひしひしと伝わる検討会となりました。この会を通じグループホームの質を向上させ、利用者の安心できる暮らしにつながることを目指しています。



# ジョイサポート三和

## 三和サマーフェスタ



7月21日(金)に「サマーフェスティバル 2023 ～熱く盛り上げられ三和～」と題し、夏祭りを開催いたしました。今年度は4年ぶりに保護者様にも参加して頂き、グラウンドに焼きそばやかき氷などの屋台と、おにぎり・卵焼き等の行楽弁当セットを販売するキッチンカーも呼び、お祭り会場を賑わせました。ステージでは、利用者様と職員が日々の練習の成果を発揮し、見事な踊りを披露。そして、利用者様と職員の有志によるエアバンド演奏では、TUBEの「シーズン・イン・ザ・サン」を熱く歌い上げ会場を盛り上げました。

また、日本舞踊で華やかな舞を披露していただいた「壱良会」様。最後は皆で盆踊りを踊りました。沖縄伝統の太鼓で迫力のエイサーを披露していただいた「紅翔エイサー護光琉」様。こちらも最後は皆で「カチャーシー」を踊り、会場が一体となり大いに盛り上がりました。久しぶりにグラウンドを会場にして行ったお祭りは、「熱く盛り上げられ三和」のサブタイトル通り熱く熱く盛り上がったお祭りで、みんなの笑顔で溢れるものとなりました。



## 浅井小向デイサービスえん (地域密着型通所介護事業)

### TABI Caféへ食事外出



5月25日TABI caféでの、外食の様子です。初めての利用者様もいらっしゃり、とても楽しみにされていた外出です。天候にも恵まれ、自然に囲まれた景色に会話も弾み食事を楽しまれていました。お土産に手作りパンや、新鮮な野菜のお買い物も大好評でした。

## ジョブハウス もみの木

### 工事の安全を祈念して地鎮祭

令和5年9月13日、牛久もみの木の新築に伴う地鎮祭が小湊鉄道が通過する中、執り行われました。完成は令和6年3月の予定です。障害者の日中活動の場として、パン工房やカフェも今までと同じく設置する予定ですが、「小湊鉄道が見えるカフェ」となりますので是非ご期待下さい。





# 児童発達支援事業&放課後等デイサービス



## こどもステーション三和

### 新しい遊具の購入

三和の中庭に新しい遊び場ができました！外に出て活動することが大好きな子ども達は嬉しそうに遊んでいます。放課後、おやつを食べた後に遊具の写真カードを持ってきて外で遊びたいと伝えてくれる子もいます。遊具遊びを通して、全身運動をおこない、体力維持や身体機能の向上、心の安定にも繋がっています。今後も、子ども達が楽しく過ごしながら成長していけるようサービス提供していきます。

## こどもステーション菊間

### 防災センター消防車見学

6月15日防災センターへ、日本に1台だけの消防車の見学に行きました。消防車の中にはロボット型の小さな車とヘリコプターのようなものがあり、大きな災害の時には遠隔で操作するそうです。その大きさに子ども達は目を丸くして驚きの表情！市原には工場地帯があるため、東日本大震災以降配置される事になったとのことでした。

そんな消防車を見学することができ、とても貴重な体験となりました。



## こどもステーション東国分寺台

### 恐竜展



6月10日、千葉市昭和の森の恐竜展へ遠足に出かけました。「うおお〜ん」と声も聞こえ、ドキドキしながら展示してある森の中へ。展示してある恐竜は本物よりはずっと小型ですが、まるで本物のような姿でした。職員にしがみつきながら歩く子、初めて見る恐竜に目を真ん丸にして見上げる子もいました。写真コーナーでは恐竜の卵の中から顔を出して記念撮影♪楽しい1日となりました。



# 武内博文さん34年間ありがとうございました



私は、平成2年6月に（社福）ききょう会に就職しました。障害福祉のことは何もわからず先輩方に教えていただきながら、令和5年6月末までの34年間働くことができました。一番印象に残っていることは、平成26年に利用者の居住環境を整備するための個室化、耐震化を進めた建替え事業です。幸いに、耐震化の補助もいただくことができ、1年間で解体工事から2階建て建物の建設工事、仮設住宅、アスベスト除去などの入札実施や毎月の設計事務

所、建設業者との打ち合わせや建設資金の確保など慌ただしい中でも計画通り確実に進め、実施することができたことに充実感、達成感を感じるとともに、保護者の皆様や関係者の皆様の協力のお陰と感謝申し上げます。（社福）ききょう会の事業拡大とともに歩んだ、充実した34年間でした。これからは、加茂地区の一員として、地域福祉の推進やチャニアンに関わりながら、微力ながら（社福）ききょう会にも協力できたらと思っています。（武内 博文）

## 生活困窮自立支援事業 いちはら生活相談サポートセンター （市原市委託事業）

### 学習支援 デイキャンプ2023



子どもの学習生活支援事業「未来くらぶ」の受講生とその卒業生を合わせて29名が参加しました。午前中はバーベキューで先生や受講生同士の交流を深め、午後は市原歴史博物館（I'Museum）を見学し、市原の歴史に触れる機会となりました。



市原さくらライオンズクラブ様からは、受験に向けて頑張してほしいとの願いがこもった文房具をいただき、夏休みの良い思い出になりました。



# 中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット (千葉県委託事業)

## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2023 総合相談って何? ~相談支援の根っこを考える~

いま相談機関は分野や制度ごとに細分化された一方、複雑で多岐に渡る対応が求められる相談も増え「総合相談」の必要性が高まっています。

今年の中核センター大会では総合相談とは何なのか?をテーマに、同志社大学の空閑浩人教授や県内の実践者の皆さんとともに相談支援の本質に迫りました。中核センターは平成16年から総合相談を行っていますが、これからもご相談者様に向き合い、関係機関とともに相談支援を全うしたいと感じました。



## 市原市多分野連携研修「ヤングケアラー支援」



今年の多分野連携研修のテーマは「ヤングケアラー支援」。8月4日は市内小中学校の先生、8月18日は市内の相談機関や行政の関係機関を対象に開催しました。ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。それまで「何となく知っていたつもり」のヤングケアラーについて理解を深め、支えるためには世帯に対し多くの分野が力を合わせる必要があることを学びました。



法人 HP、Facebook、求人情報はこちらから ▶

